

災害復旧事業に係る 未払金調査等特別委員会 からの報告



災害復旧事業に係る未払金調査等特別委員会では、事案の発生原因やその背景の究明、併せて再発を防止し、市民への説明責任を果たすことを目的として、事務の調査を行いました。執行部に対して説明と回答を求め、現地調査も行い、委員会の開催は10回に上りました。委員会では、発生原因、追加工事内容の確認、竣工検査の在り方、請負業者の責任、契約の成否、再発防止策の検証も行い、提言を取りまとめ、議会に報告しました。執行部に対しては、関係者の厳正なる処分を行うとともに、委員会の提言を真摯に受け止め、早期に具体的な再発防止策を作成し、市民及び議会に対して報告することを求めました。そして、全ての職員のコンプライアンス確立を行うこと、職場内での情報共有、人事管理を徹底することにより、損なわれた市民からの信頼回復に全力を傾注するよ

う強く要望しました。議会としても今回の事案発生を教訓として、市政に対する監視機能の強化に努めるとともに、市民の行政への信頼回復のために責務を果たさなければなりません。

議会 ニュース



全員協議会で 中期財政見直しなどを議論

11月20日に全員協議会が開催され、理財課から、高梁市中期財政見直しについて説明がありました。

歳入については、徐々に市民税の減少が予測され、その上、高齢化に伴い扶助費の割合が高くなることが明確です。財政を表す主要な指標である「経常収支比率」が令和14年度までの10年間で97〜98パーセントの高水準となることが明らかとなり、市の財政状況の一層の厳しさが浮き彫りとなりました。

高梁認定こども園(仮称)の施設整備事業の進捗状況について、教育総務課より説明がありました。また、令和7年4月からの入園者見込み数については、現状では分からないが、令和6年度と同程度ではないかといった回答がありました。ZEB化による施設全体の光熱費のシミュレーション、CO2の総排出量の数値については、後日資料での回答となりました。

委員会の経過

9月 8日	市長が議会で未払い事案の発生を報告
8日	議会運営委員会で議論
14日	全員協議会を開催し、執行部が説明
15日	議会運営委員会で議論
22日	議会運営委員会で議論
27日	全員協議会を開催し、再度執行部が説明
29日	特別委員会設置、第1回開催
10月 4日	特別委員会第2回開催
18日	特別委員会第3回開催
20日	特別委員会第4回開催
11月 1日	現地確認後、特別委員会第5回開催
7日	特別委員会第6回開催
15日	特別委員会第7回開催
20日	特別委員会第8回開催
12月 7日	特別委員会第9回開催
11日	特別委員会第10回開催
21日	定例会最終日に報告書を市長へ提出



報告書を市長に提出

市民生活委員会で 島根県の子育て施策を調査

市民生活委員会では、11月13日・14日に管外行政視察で島根県松江市と雲南市を訪問しました。松江市は人口減少と出生数の低下に対し、子育て環境改善のため「伴走型相談支援」や「経済的支援」を導入しています。産後ケアに力を注いでおり、出生数は横ばいとなり、地域全体の子育て環境が向上しています。

雲南市は人口減少対策として「移住・定住の取り組み」を強化。定住基盤整備や地域自主組織の協力で、過去7年で1862人の移住者を記録し、定住世帯数が増加。地域課題解決と「ソーシャルチャレンジ」を通じて、移住・定住の促進が進んでいます。

産業経済委員会で 岡山自動車道盛土場を視察

産業経済委員会では、11月9日、岡山自動車道有漢トンネル南抗口周辺、有漢高架橋、大塚盛土場、秋町残土場の現状を確認しました。岡山自動車道工事から排出された残土を受け入れている盛土場は、現在大塚盛土場のみであり、当初計画では40万立方メートルでしたが、16万立方メートルに変更になりました。3800平方メートルと3200平方メートルの平地ができていますが、完成後の活用は検討中です。

秋町残土場は約7万平方メートルの面積を有しており、高梁管内のしゅんせつ土40万立方メートルを県が搬入します。



雲南市での視察



秋町残土場